

立教185年 (令和4年) の新春を迎え 心よりお慶び申し上げます

天理教北海道教区 教区長・主事・支部長
各部・各会担当者一同

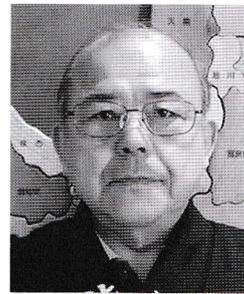


豊田山方向より神殿・教祖殿を望む



第575号
発行所
天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話011(561)-1148
FAX011(561)-1190
tenrikyo.hk@gmail.com
印刷
三浦印刷株式会社

信仰の基本に立ち返り、ひながたの道を心楽しく



教区長 西垣 定洋

昨年は皆さんのお力添えを頂いて、支部長会議をリモート会議とし、更には教区活動もままならない一年ではありましたが、10月25日におちばに於いて、「第百回教務支庁記念祭・御礼参拜」を、11名の教友と共につとめさせて頂けました事は誠に意義深いことでありました。

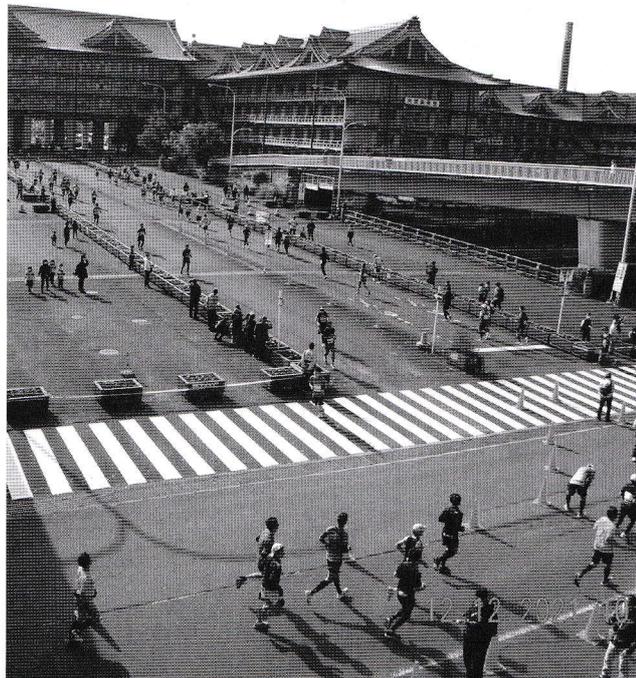
本年は、新型コロナウイルスが発生して早くも三年目の年になります。

発生当初は何が起こっているのか分らず、想像を超える不安の中でありましたが、感染対策などを通し、少しずつ乗り越えてきたように思います。

私達も信仰者として親神様の御守護に感謝し、教祖よりお教え頂いた御教えを元に、日々を結構に通らせて頂ける事に大きな喜びを味わわせて頂いております。心から御礼を申し上げます。

奈良マラソン2021 (12月12日)

八〇〇〇人のランナーが 親里を翔ける



せて頂きましょう。

私達の多くは親のお陰で、生まれながらに信仰の家庭に育ちながらも、身上に障りを見せて頂いたり、事情に標しを見せて頂いたりしたら、ついつい我が身思案に落ち、自分を正当化してしまう自分がいる事に気が付くのであります。

お互い一人ひとりが改めて信仰の基本に立ち返り、将来に向けてしっかりとした基礎を築く事が大切であると思います。何も難しい事ではなく、分かっていることを、ひながたの道を手本として、御教えを守らせて頂きましょう。

- おつとめをもっと素直に勇んでつとめましょう
- 一手一つの心を持たせて頂きましょう
- お守りを身につけましょう
- をびや許しを戴きましょう
- 朝起き、正直、働きを実践しましょう
- やさしい心になりましょう

等々、難しく考えるのではなく、素直に、信仰者として、自

らの歩みを一步一步と進める事をお教え頂いているのかもしれない。今年も北海道に住む我々が互いにたてあいたすけあい、教会を忠として、地域社会の人々と共に陽気ぐらしの年となるよう、共に勇んでつとめさせて頂きたいと思しますので、何卒よろしくお願い致します。

「君の瞳に感動を」

総務部長 矢島 建身

謹賀新年 のんびり、ゆっくり、あたたかな一年になりますように

年が改まり早くも三年目を迎え新型コロナウイルス感染による事情が、国内では、小康状態まで落ち着いたことで、私も久しぶりに帯広市内の直轄教会に巡教させていただくことができました。

客間での役員さん二人の直会の席上で、昔、私が講話をさせていただき、私自身、忘れていた話を思い出すことができました。その話とは、こうです。

私は、犬を飼っていました。犬は、オス犬で毛色が黒色の柴

犬です。名前は、柴犬となるので遼太郎と娘が付きました。日本で最も著名な歴史作家の司馬遼太郎先生から拝借いたしました。大変申し訳ありません。

西大寺駅から大阪難波駅の途中の八戸ノ里駅より徒歩で十分程度の距離にある七万冊の蔵書を展示収納されている司馬遼太郎記念館に少し若かりし元氣な時に見学に行ってきました。

そこで見つけたのは、もう既に絶版になった平凡社より発刊された東洋文庫三百の本であります。題名が「民衆宗教の聖典天理教」東京大学宗教学科教授

おたすけの心が

教務の原点

教務部 大野 成一

もう、25年ほど前のことになりました。おぢばからの帰り、京都から特急寝台「日本海」に乗り込み、夜も更け熟睡していると、機関車が故障したというアナウンスが入り起こされた。場所は新潟県内の駅であったと思うが、急遽、眠たい目をこすり、慌てて寝間着から着替え、荷物を持って向かいのホームに停車中の列車に乗り換えることとなった。

の村上重良先生が校注された漢字混じりに変換された「みかぐらうた おふでさき」の三百シリーズの最終の章の一冊です。(私自身一冊所有)その記念館の数万の蔵書の中で見つけた一冊の本を司馬先生もお読みになされたというの、感動ものです。おぢば帰りされた際に足を運び下さいませ。その気持ちを味わってください。

本年は、明るい一年となりますようお祈り申し上げます。どうぞ北海道教区活動の上に宜しくお願い申し上げます。

車内に入り、空いている席を探している時、「やあ、大野君」と声がした。振り返ってみると、M先生であった。函館までの道中、いろいろと楽しくお話をさせてもらった。今となっては貴重な思い出である。

かつて、私は支部教務部の責任者でもあり、12月となれば計算の毎日が続いていた。その御用をする数年前に、突然、そのM先生から電話が入った。「今年の年末調整の指導をしてくださいか。」という思いもよらぬ用件であった。先生はその年の

秋に体調を崩されていた。以後、先生とは連絡を取るため教会、また「憩いの家」まで伺ったが、その間、私は教務として御用をする上での大切な事を多くお教えいただいた。先生は、大きな病の中でも、決して苦にされず、明るく私や周りの方々に接しておられた。私がおもいと同じ状態であったら、わが事のようにお世話取りをする余裕などなかったと思う。先生の信仰姿勢には心から頭の下がる思いがした。

ある時、先生は「なあ、大野君。教務部というところは実に重要な仕事なんだ。支部の会長さん方が少しでも苦にならずに、本来の、にをいがけ・おたすけに従事できるよう手助けしていくのが我々の一番のつとめなんだよ。」とお教え下さった。私にとって決して忘れることのできない言葉であった。

この事が以後、教務という御用をする上で私の原点となっており、現在も同じ思いである。ここ数年は教内において新たな動きもあり、法人合併手続きが、山積している状況でもあ

る。しかし、その中においても、単なる事務処理に終わるこ

となく、M先生からお教えいただいた「おたすけの心」を以て、より理解しやすいよう、日々努力しながら事に当たっていくことを教区教務部員一同が、目指しているところである。私の教会近くに函館公園があり、その側に、函館出身の文学者、亀井勝一郎氏の小公園というか広場がある。そこには文学碑が建っており、次のように刻まれている。「人生、邂逅し、開眼し、瞑目す」とある。

人生とは、さまざまな人との出会い、経験があり、それによって目を開く、つまり知恵や悟りを得、そして最後にみんな目を閉じるという意味だという。

邂逅(かいこう)とは、「出会い」ということだが、私にとってM先生は一つの邂逅である。だが、問題はそれが目を開く「開眼」につながっているかと問われれば、そうではない。

それには、もう60を越えている身ではあるが、これから私の信仰をいかに深く掘り下げていけるかということである。

今年も、どうか教務の上に管内皆様方の御協力を心よりお願いいたします次第である。



おぢはは学生の街 日課はじめの定刻参拝(おつとめ)に向かう生徒さんたち 12月14日撮

親神様に働いていただける、ようぼくを目指して

文化広報部 加地 道喜

立教184年最後の自教会月次祭を迎えるに当たり、立教183年12月のおぢは月次祭での祭文が気にかかり、『みちのとも』をひもとくと、真柱様の「年頭挨拶」が掲載されていました。あらためて拝読させて頂きました。すべて心に染みましたが、特に「私たちのつとめは、その親神様のお力を頂かないことには進めて行くことができないのであります。そう考えたら、お互い、親神様に働いていただけるように、しっかりと、そして素直に、教えを心に治めていかなければならないと思つたのであります。」とお言葉が胸に深く刺さりました。

この頃よく思うことがあります。

「人はある立場を頂き、その立場を、責任を持って真実込めて勤めるとき、心を作らせて頂ける」

昨年高齢者の仲間入りを果たしました(っ)。この年齢になつてどうかとも思いましたが、町のある組織の役など、二つの「立

場」を新たにお受けしました。

「立場」と言っても様々な「立場」がありますので、その「立場」でもって運営あるいは推進していくについて、多くの人の心寄せを頂かねばならない場合もあります。そうした「立場」はより心を配らねばなりませんので、更に心が練られます。

しかしながら、まず私たちお互いは、よふぼく、という尊い「立場」があります。

「よふぼく」として、本年「親神様に働いていただけるように」、「しっかりと、そして素直に」歩ませて頂きたく存じます。

『天理時報』はじめ、道友社より発行発刊される文書を有用にご活用下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

育成名簿のお願い

育成部 高橋 太志

育成部では、今年もお道の将来を担う人材の育成を婦人会、青年会、少年会、学生会、学生担当委員会がお互いたすけあい、共に育つ努力をしながら連携を取り合い活動できるようつとめまいりたいと思えます。

全教一斉ひのきしんデー

▲実施日▽4月29日(金・祝)

感謝の心で一手一つにひのきしん家族ぐるみで参加しよう

新型コロナウイルスの状況により、「ようぼく家庭周辺」や「教会周辺」等、ひのきしんを行ってもらうよう、声がけいたしました。

今年(立教185年)は提唱90周年の年

昨年は、新型コロナウイルス 感染の影響で各会は年頭に計画した通りの活動はできておりませんが、今年是对策を講じながら活動していくことかと思えます。

そのためにも名簿が重要であります。昨年より、各会が名簿づくりをするのではなく、育成部が柱となつて名簿を一括管理して各会にお渡しする事となり、皆様にご協力頂いております。

何卒、育成名簿の提出にご理解とご協力、お願い致します。

【名簿対象者】40歳までの男女(少年会、学生会、女子青年、青年会の各層対象者)

【提出方法】記入用紙提出の場合：別紙記入用紙を支部内で取りまとめ教務支庁まで郵送願います。

オンライン提出の場合：QRコードにアクセス、提出願います。



基礎講座北海道会場

「マイナーチェンジ」へ

事務局長 藤野 充普

新年あけましておめでとうございます。基礎講座北海道会場は本年3回の開催を予定しています。

コロナ事情により、昨年、一昨年と北海道会場の開催はできませんでした。今年もコロナ禍

笑顔、喜び、繋ぎの 徳分を次の世代に

教区婦人会 山本 亨子

新年明けまして

おめでとうございます

昨年中は婦人会活動の上にご協力賜りまして誠にありがとうございます。

昨年来を振り返りますと教区での行事を全て中止いたしました。が、支部ごとにコロナ禍を鑑みて、一人からでも婦人会として出来ることを模索しながら勤めていただくことをお願いし、それぞれが支部として、委員部として、女性として、成人の道の歩みを立止まることなく務めていただきました。

支部主任の皆様方といつでも

でどうなるか見当もつきませんが、「心定めが第一」として努めて参りたいと思います。

また、「節から芽が出る」ともお聞かせ下さいます。コロナ事情が収まって「以前のように」ではなく、新しい基礎講座の在り方やその役目に応えてゆけるよう努めて参りたいと思っております。本年もよろしく願います。

繋がる事が出来る様にスマイルチームというライングループを立ち上げ、個々の活動から支部の活動までを報告して頂き、活動内容を共有して勇みの種とさせていきたいと思います。

共有できたことは大変嬉しく、感謝の気持ちでいっぱいです。世界中で共通の苦しみを経験している今だからこそ、神のからだのなかで住まいさせて頂いているという実感が湧き、かしの、かりもののご教理を今一度心に治めることが出来るチャンスだと感じます。

女性の徳分を今一度思い返して、笑顔、喜び、繋ぎ、の日々を重ねて、信仰させてい

目指すは合唱人口を増やすこと

教区合唱団 荒川 善孝

平成13年、キタラホールでの「おうた演奏会」後、北海道教区合唱団として再結成されてから、昨年で早20年が経ちました。

三代真柱様の作曲の師であり『おうた第二番 おやさま』を作曲された山田耕笹先生のご助言により、天理教音楽研究会に合唱部門が設置され、爾来十数教区で合唱団が結成され、今日に至っております。

天理教音楽研究会合唱団を創設時から長年にわたってご指導下された林雄一郎先生は、高度な合唱団を目指すのも大切では

いる有り難さや、嬉しさが必ず次世代に繋がる事を信じて今年も歩みたいと思えます。本年も何卒宜しくお願い致します。



2001年9月2日 札幌キタラホールで「おうた演奏会」指揮者右・三代真柱様

あるが、合唱人口を増やすことがより大事だと仰られました。声は万人に備わった一番身近な楽器であり、手足とは違って高齢になっても鍛錬により、衰えることはありません。脳を含む身体機能に良い影響を与えるばかりではなく、合唱によるハイモニーは心をなごませ、ハッピーな気分になさしてくれます。

■本教では多彩な音楽活動が繰り広げられておりますが、合唱の普及度はまだまだです。経験の有無を問わず、管内多くの皆様方のご参加を心待ちにしております。



—天理教布教部後援—
お道の教えに導かれた
二人の出逢い、
サポートします。

お道の信仰を持つ人と結婚したい
でも、出逢いの場や機会がない
そんなようぼくたちを支援する
オンライン婚活サイトが「縁むす」です。

- <入会条件>
- ◆ようぼく (または満席) 年齢: 25歳以上
 - ◆入会金: 無料
 - ◆婚活費用: 1回1,000円 (男女共)
 - ◆『縁むす』での婚活について、
両親、所属教会長の承認を得ていること
- お問い合わせ 平川寛行 (縁むす事務局長) 080-3750-6793
/support-member@tenri-enmusu.com
《教区・直属サポーター用
support-supporter@tenri-enmusu.com》

北海道教区記念祭 第百回記念御礼参拝

去る10月25日、9時に東札幌場に参集した北海道教区の方々、西垣教区長を忠として、「教区記念祭百回を勤めたお礼のおつとめ」をつとめさせて頂いた。参加者は11名だった。

この日集まった一同は、教区長、役員、主事、支部長を始めとし、未だマスクを外せないながらも、まず何をおいてもおちばがえりと、帰参した方々で、「本当に久しぶり!」「元気だった

か!」と声をかけ合い、約二年近くにわたるコロナ禍の中での再会に、感慨深く話に花が咲く中、矢島総務部長が最初の言葉述べ、座りづとめを心ひとつにつとめさせて頂いた。

その後、教区長が挨拶に立ち、久しぶりの教区行事に大勢も北海道でたすけ一条の御用を弛まず進めようと話した。あいにくの雨の一日だったが一同は晴天の心で、北海道での躍進を誓って解散した。

新会長さん紹介

(令和3年9月26日お運び)

網走支部

旭網分教会(網走)

奉告祭 11月7日



栗林徳正氏 (50歳)

(令和3年10月26日お運び)

網走支部

北網分教会(夕張)

奉告祭11月21日



土屋知子氏 (68歳)

北海道教務支庁日誌抄

8月26日	本部月次祭選擇式	主事会 (リモート会議)
9月1日	たすけ推進会議(リモート会議)	支部長会議(リモート会議)
2日	支部長会議(リモート会議)	合祀慰霊祭
4日	札幌中南支部例会	
18日	道の教職員	
26日	本部月次祭選擇式	
10月1日	たすけ推進会議(リモート会議)	
2日	支部長会議(リモート会議)	
4日	札幌中南支部例会	
25日	本部参拝	
26日	本部長秋大祭選擇式	
11月1日	主事会議 (リモート会議)	
2日	たすけ推進会議(リモート会議)	
4日	支部長会議(リモート会議)	
26日	本部月次祭選擇式	
12月1日	主事会議 (リモート会議)	
2日	支部長会議(リモート会議)	
	予算会議 (リモート会議)	
	婦人会例会	
4日	札幌中南支部例会	
26日	本部月次祭選擇式	
28日	御用納め	
1月4日	御用始め	
6日	たすけ推進会議(リモート会議)	
7日	支部長会議(リモート会議)	

献血ひのきしん

一人でも多くの方のご協力をお願いします。



令和4年(2022)3月2日
PM2:00~4:00

場所 北海道教務支庁前駐車場

コロナウイルス禍の影響により、献血量が不足しています。全ての型について困っている状況です。血液は生きている細胞が入っているので長期保存ができません。

※ご協力頂ける方には前もってご連絡頂けると幸いです。

北海道教区福祉部 TEL: 011-561-1148
担当: 北山 元 携帯: 090-7659-8301

計報

川浪 誠様	8月20日出直 (83歳)
上砂川分教会長	(空知支部)
安藤 愛子様	8月28日出直 (90歳)
石上分教会前会長夫人	(旭川支部)
佐藤 吉徳様	8月31日出直 (66歳)
甲富分教会長	(富良野支部)
太田 タカ様	9月2日出直 (103歳)
北天塩分教会前会長夫人	(宗谷支部)
小野寺 總様	9月12日出直 (88歳)
北空知分教会長	(空知支部)
鈴木 恵子様	9月19日出直 (94歳)
生田原分教会長	(旭川支部)
大矢 政子様	10月19日出直 (94歳)
上薫分教会長	(紋別支部)
中右ウメ様	11月21日出直 (99歳)
理喜道分教会前会長夫人(富良野支部)	

二〇二二年（令和四年）の新春を迎えさせて頂いた。昔流に数え年で云うと私は八十七歳の春を迎えたということである。しかし私はまだ若輩だと心の底から思っている。

私は若い頃から胃腸が弱くて長く生きられないと思っていたが、どうしたこともかまわず生かして戴いている。神様がまだまだ用事を果たさねばならないから頑張れと仰せになっているのだらう。今は生きているだけで有難い気持ちで、ただただ感謝の念で本当に一杯である。

今迄、教会長を始め、その他いろいろとお道の御用を勤めさせて頂いてきたが、私のような至らない者が至らない通り方をしてきて申し訳ない気持ちでもある。しかし今はどんな御用でも、また雑用でも与えられたものは分け隔てなく、神様から与えられた仕事として受け、見返りを求めない毎日である。

従って不足はない。まあ自分の徳分以上の状態置いて頂いていると思っている。だから有難い有難いである。

そして身内について更に有難い事は、五人の子供達が、それぞれに与えられた自分のいんねんを自覚して本気で神様を信じてつとめ、つくして勇んだ人生を送ってくれている事である。

教理随想 四十一

新しい年を迎えて

木岡 昭

う心遣いである。そして時代が変わっても不変である。

思えば私達の人生は、誰もが出生の時に、親も時期も場所も選ぶことは出来ない。

それはすべて「いんねん」によつて決められて人生が始まっているのである。つまり云い方が悪いが本人の意思に関係なくこの世に投げ出された人生である。そこには親子の縁が必然的に生じ、一人ひとり異なるいんねんが与えられているのである。これはどんな人も受けるしかない。その最も上手な受け方の出来る人がいんねんの自覚が出来る人であらう。そこにはどんな困難な中でも、やがて喜びの心が開き、人生の真の意義を感じて勇ませて頂く種があるのである。

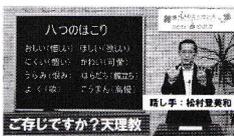
今日は便利になったが困難は減っていない。いや文明の発展は公害も多発し、また争いも増している。これは人々の心の成長が止まっているからだろう。

人の心は、求める心よりも与える心の発揚の方が本当に心の成長をさせてくれるのである。

私にとっては地位、名譽、財産を越えた喜びである。やはり人生の充実、喜びは、それぞれの心が持つ徳一杯の姿である。それは自分自身がつとめただけ、つくしただけに徳が備わる姿であつて、これこそ天理に合

You Tube
天理の教え
チャンネル

心のエッセンス
なるほど から始まる新しい一歩



なるほど
心の力

例話や体験談を交えた
分かりやすい御教えのお話です

スマートフォンの
方はこのQRコードを
スキャンしてください



なるほど
学びの力



現代社会の様々な悩みについて
各分野の経験豊富な講師による
信仰に基づいたお話です